

令和元年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価」実施報告書

地方教育費行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、地方自治法第 233 条第 5 項に規定する主要な施策の成果を説明する書類（決算主要事業）の作成、議会への提出及び公表を行うことをもって、法第 26 条第 1 項の義務を充足しています。

令和 2 年 9 月

浪江町教育委員会

令和元年度

主要な施策の成果

福島県 浪江町

3. 民 生 費

◆児童手当

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 2 (決算書 1 2 3 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
214,780,000	181,347,162		33,432,838

中学校修了前児童を養育している方に、家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全な育成を図るため支給した。

○対象児童数 1,582 名

◆子ども医療費助成事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 3 (決算書 1 2 3 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
12,596,373	5,791,493		6,804,880

18 歳までの子どもを養育している方に、子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し健康の保持増進を図るため助成を行った。

○受給者数

・ 未就学児	482 名	助成件数	3,460 件
・ 小学 1 年生から 3 年生	233 名	助成件数	994 件
・ 小学 4 年生から 18 歳	765 名	助成件数	2,109 件

◆屋内アスレチック施設整備事業（新規・震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 3 - 2 - 4（決算書125頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
12,775,400	6,387,000		6,388,400

平成29年度に浪江町健康関連施設整備検討委員会からの提言をもとに、旧ふれあいセンターなみえ周辺施設の整備に向け、屋内遊び場施設について実施設計を行った。

◆保育料助成事業

（教育委員会事務局）

科目 3 - 2 - 4（決算書125頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
18,377,448		9,000,000	9,377,448

原発事故の避難により、児童が他自治体の保育所等に入所した際の保育料を助成した。

○対象児童

- ・ 県内 128名
- ・ 県外 15名

◆出産祝い金支給事業

（教育委員会事務局）

科目 3 - 2 - 4（決算書125頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
4,800,000			4,800,000

次代を担う児童の健全な育成を図ることを目的に出産祝い金（第3子以降）を支給した。

○支給件数 24件

◆遠距離通学費助成事業

(教育委員会事務局)

科目 10-2-2、10-3-2 (決算書193・195頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
70,000			70,000

遠距離通学の児童及び生徒の保護者に通学費を援助し、経済的負担の軽減を図った。

なお、避難先自治体にて通学費の援助を実施している場合は、避難先自治体での援助を優先させた。

○助成実績

- ・小学校(4 km以上) 4名 40,000円(県外0名)
- ・中学校(6 km以上) 3名 30,000円(県外0名)

◆就学援助事業 (震災関連事業)

(教育委員会事務局)

科目 10-2-2、10-3-2 (決算書193・195頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
20,833,427	20,833,427		

東日本大震災の影響により、経済的に就学困難となった児童及び生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品・給食費にかかる経費の一部援助を行い、経済的負担の軽減を図った。

なお、避難先自治体にて就学援助を実施している場合は、避難先自治体での就学援助を優先させた。

○援助の状況

(単位：人)

援助人数	小学校	中学校	計
		198	67
うち福島県内	171	53	224
うち福島県外	27	14	41

◆幼稚園就園奨励事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 4 - 2（決算書195頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
12,893,720	10,723,310		2,170,410

幼稚園の就園を奨励するため、所得に応じた授業料等の減免を行い幼児教育の普及を図った。

○対象者数

・ 公立幼稚園	6名	（県内6名、県外0名）
・ 私立幼稚園	135名	（県内126名、県外9名）
計	141名	（県内132名、県外9名）

◆成人式の開催

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 1（決算書195頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
770,470			770,470

令和2年1月11日（土）に、浪江町地域スポーツセンターにおいて成人式を開催し、新たな門出を祝った。

○対象者数	188名	うち出席者数	男性	34名
			女性	27名
			合計	61名

◆地域公共施設整備事業（新規・震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 1、10 - 6 - 2（決算書197頁、203頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
16,159,000	10,414,000		5,745,000

平成 29 年度に浪江町健康関連施設整備検討委員会からの提言をもとに、旧ふれあいセンターなみえ周辺施設の整備に向け、昨年度実施した基本設計を基に、実施設計を実施した。

- 復興まちづくり支援施設分 14,014,000 円
- ふれあいセンターなみえ運動公園グラウンド整備分 2,145,000 円

◆郷土芸能復興支援事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 2（決算書197頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,190,611			2,190,611

東日本大震災の影響により郷土芸能の継承が困難になっているため、各地区の芸能保存会に対し、用具の新調・修理や交通費等の経費の補助を行った。また活動が困難な団体については、用具類を預かり保管を実施した。

- 本事業における補助採択芸能の団体・種別 7 団体 10 種）
 - ・南津島郷土芸術保存会（神楽・田植踊）
 - ・中島郷土芸能保存会（剣舞・神楽）
 - ・川添芸能保存会（神楽）
 - ・室原郷土芸能保存会（神楽）
 - ・高瀬郷土芸能保存会（神楽）
 - ・樋渡・牛渡田植踊り保存会（田植踊）
 - ・赤宇木芸能保存会（神楽・田植踊）

◆浪江町埋蔵文化財発掘調査事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 2（決算書197頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,520,000	2,640,000		880,000

浪江町内の復興に向けた環境整備を行うにあたり、開発地区内における埋蔵文化財の遺跡の可能性の有無、またその範囲及び内容を明らかにするために、分布調査及び試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護と開発事業の両立を図った。

○主な試掘調査実績

・北幾世橋字植ノ畑 地内(植畑遺跡)	調査面積 約 262 m ²
・室原字八龍内 地内(八龍内遺跡近接地)	調査面積 約 74.4 m ²
・小野田字仲禅寺 地内(仲禅寺遺跡)	調査面積 約 172.5 m ²
・川添字南大坂 地内(南大坂遺跡)	調査面積 約 28 m ²
・権現堂字北深町 地内(権現堂条里制跡)	調査面積 約 239 m ²

◆図書館の運営

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 3（決算書197頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
4,235,920			4,235,920

平成24年度に福島市笹谷地内において「浪江 in ライブラリーきぼう」（仮設浪江町図書館）を開設し、令和元年度も引き続き避難中の町民の交流及び情報提供の場として活用した。（令和2年3月15日閉館）

・登録者数	821名
・蔵書数	8,123冊
・開館日数	270日
・利用者数	3,913名

◆震災遺構整備事業（震災関連事業）（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 5（決算書 199 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
12,100,000		12,100,000	

平成 31 年 2 月に有識者・地元代表者・学校関係者等による震災遺構検討委員会より請戸小学校の校舎等を震災遺構として保存活用していくべきとの提言を受けた。

この提言を受け、校舎等を震災遺構として整備するための設計を実施した。

○震災遺構整備設計業務委託 12,100,000 円

◆生涯学習推進事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 5 - 6、10 - 6 - 1（決算書 199 頁、201 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
245,000			245,000

浪江町地域スポーツセンターのトレーニングルームにおいて、安全で有効な施設活用を目的とした、町民向けの専門トレーナーによる講習会を行った。また、浪江 in ライブラリーきぼう（仮設浪江町図書館）や浪江小学校において、専門講師によるハワイアンキルト教室、絵手紙教室、青少年講座などの町民向けの生涯学習出前講座を開催した。

講習名	実施回数	開催日	参加者総数
専門トレーナーによる講習会	22 回	毎月 2 回（4 月と 8 月は 1 回）	119 名
ハワイアンキルト教室	2 回	4 月 8 日、12 月 9 日	24 名
絵手紙教室	2 回	4 月 12 日、12 月 13 日	25 名
青少年講座	1 回	2 月 6 日	10 名

◆浪江町地域スポーツセンター運営事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 6 - 2 (決算書201頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
30,045,339		614,700	29,430,639

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和元年度 利用状況一覧

	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	183日	177日	360日
会議室	233件	195件	428件
サブアリーナ	81件	90件	171件
メインアリーナ	155件	166件	321件
トレーニング ルーム	3,780人	3,942人	7,722人

◆保健体育事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 6 - 4 (決算書 203頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
7,072,962			7,072,962

町民同士の再会及び交流の機会として、町長杯として各種競技のスポーツ大会を開催した。

そのほか、野球、ソフトボール、駅伝といった県内の市町村対抗の大会へ出場する選手へのサポートを実施した。

○町主催大会

大会名	大会日	場所	参加者	備考
町長杯パークゴルフ大会	5月18日	日山パークゴルフ場	83人	
	10月6日	南相馬市パークゴルフ場	77人	
町長杯野球大会	8月10日	なみえ創成小・中学校校庭	54人	4チーム
町長杯ソフトボール大会	8月3日	本宮市 白沢運動場	89人	参加7チーム
町長杯ゲートボール大会	6月15日	二本松市郭内屋内ゲートボール場	17人	新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止
	3月28日			
町長杯グラウンドゴルフ大会	10月20日	なみえ創成小・中学校校庭	34人	
町長杯 家庭婦人バレーボール大会	10月12日	浪江町地域スポーツセンター		台風のため開催中止
町長杯 ソフトテニスインドア復興親善大会	2月15日	浪江町地域スポーツセンター	20人	シニア 10チーム
	2月16日		14人	一般7チーム

○市町村対抗等町外大会参加状況

大会名	大会日	場所	参加者	備考
双葉郡スポーツ交流大会	7月7日	広野中学校他	8 町村	バレー：準優勝 バスケ・剣道：第3位
県民スポーツ大会 壮年ソフトボール	9月1日	相馬光陽ソフトボール場	7 市町村	Bブロック優勝
県民スポーツ大会 9人制バレーボール	9月1日	新地町総合体育館	6 市町	予選敗退
県民スポーツ大会 ソフトテニス	9月1日	相馬市角田公園 テニスコート	7 市町村	Bブロック優勝
市町村対抗福島県 軟式野球大会	9月7日	あづま球場	59 市町村	開会式
	9月14日	ほばら大泉球場		対本宮市 (7-3)
市町村対抗福島県 軟式野球大会 (2回戦)	9月22日	牡丹台球場		対新地町 (3-1)
市町村対抗福島県 軟式野球大会 (3回戦)	9月29日	しらさわグリーン パーク		対広野町 (3-2)
市町村対抗福島県 軟式野球大会 (4回戦)	10月12日	県営あづま球場		台風のため開催中止。八強賞を受賞。
市町村対抗福島県 ソフトボール大会	10月12日	相馬光陽 ソフトボール場	55 市町村	台風のため開催中止
ふくしま駅伝	11月16日	しらかわカタール スポーツパーク	53 チーム (59 市町村)	開会式
	11月17日	白河市から 福島市		全体 34 位 (町の部 14 位)

特別会計の状況

文化及びスポーツ振興育成事業特別会計(教育委員会事務局)

(決算書210頁)

令和元年度文化及びスポーツ振興育成事業特別会計決算額は、歳入 1,674,866 円、歳出 1,239,866 円で、前年度と比較して、歳入が 132,361 円 (8.6%) の増額、歳出が 317,361 円 (34.4%) の増額となった。歳出の主なものは負担金補助及び交付金 645,000 円 (前年度 450,000 円) で、前年度と比較して 195,000 円 (43.3%) の増額となった。

○歳入歳出の状況

【歳入】

(単位：円、%)

区 分	令和元年度 A	平成 30 年度 B	増 減 A - B	増減率
利 子	4,866	2,505	2,361	94.3
文化及びスポーツ振興基金 繰 入 金	1,040,000	1,040,000	0	-
繰 越 金	620,000	500,000	120,000	24.0
寄 附 金	10,000	0	10,000	皆増
歳 入 合 計	1,674,866	1,542,505	132,361	8.6

【歳出】

(単位：円、%)

区 分	令和元年度 A	平成 30 年度 B	増 減 A - B	増減率
交 際 費	0	0	0	-
需 用 費	0	0	0	-
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	645,000	450,000	195,000	43.3
積 立 金	594,866	472,505	122,361	25.9
予 備 費	0	0	0	-
歳 出 合 計	1,239,866	922,505	317,361	34.4

◆文化及びスポーツ振興育成事業助成金

科目 2 - 1 - 1 (決算書 2 1 2 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳(円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
645,000		645,000	

浪江町文化及びスポーツ振興基金を活用し、町の文化及びスポーツ活動の振興と育成を図るため活動団体等へ助成金を交付した。

○助成内容

(単位:件、円)

区 分	事 業 名	件数	助成額
スポーツ事業	国際大会	2	75,000
	全国大会	7	310,000
	東北大会	4	40,000
	スポーツ大会開催事業	4	120,000
文化事業	成果発表事業	2	100,000
計		19	645,000